

患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

医療の目的は患者の QOL(Quality of Life:生活の質)の向上です。QOL の測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治癒を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的 QOL 評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム（PRO: Patient reported outcome）とされ、臨床研究に多く使われています。人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ、評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。
(参考文献：中島孝、医療における QOL と緩和についての誤解を解くために、医薬ジャーナル、47：1167-1174, 2011) この「SEIQoL」を理解し、ipod を用いた最新システムで体験するセミナーを開催します。今回の会は、医療、介護のスタッフのみならず、患者さん・ご家族の参加も有意義になるものと思います。

日 時 平成 28 年 12 月 18 日 (日) 12:30 ~ 16:30 (予定)

場 所 立命館大学院・創思館カンファレンスルーム

京都府京都市北区等持院北町 56-1

講 師 中島 孝 (国立病院機構新潟病院副院長)

コーディネーター 井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)

中山 優季 (東京都医学総合研究所難病ケア看護研究室)

対 象 難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職・患者・家族・関係者・ボランティア

定 員 先着 50名

参加費 無料

プログラム

- 現代における喪失のケアと緩和ケア、難病ケア
- QOLとは何か：ケアを改善するために QOL の誤解を解きどのように理解するとよいか？
- 実践演習：SEIQoL における面接の基本と SEIQoL における Cue の抽出の説明

ロールプレイ法による SEIQoL の Cue 抽出 (ステップ 1)

ロールプレイ法による Cue のレベルの決定 (ステップ 2)

SEIQoL における Cue の Weight の推定 (ステップ 3)

SEIQoL のデータ入力と解析・評価

◆ お申し込み・お問い合わせ ◆

医学研中山 優季まで、**申込期限：平成 28 年 12 月 9 日(金)**

裏面の申込用紙にご記入のうえ FAX/Email にてお申し込みください。

nakayama-yk@igakuken.or.jp

(FAX) 03-6834-2291 (医学研難病ケア看護研究室)

申込期限：平成28年12月9日

FAX 03 - 6834 - 2291 (直通)

宛先 患者主体のQOL評価法を学び活かす実習セミナー担当 中山 行き

申込用紙

申込日：平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

氏 名： _____

住 所： _____

所属機関： _____

F A X： _____

E-mail アドレス： _____

職種・参加者プロフィール： _____

(例. 看護師、理学療法士、難病ケア支援者、介護職、患者、家族、研究班関係者、ボランティア etc.)

以下は、研修会での参考にさせていただきますので、差し支えない範囲でお答えください。

①「SEIQoL-DW」を実施した経験はありますか。 いいえ ・ はい (→ 回位実施)

「はい」とご回答くださった方に伺います。

②「SEIQoL-DW」実施対象者の病名を教えてください。

[] [] []

③「SEIQoL-DW」を実施した感想を教えてください。

1. とても簡単 2. まあ簡単 3. ふつう 4. すこし難しい 5. 難しい

④「SEIQoL-DW」を実施するにあたり、ということが難しいと思いましたが。

[]

⑤ 全員に伺います。セミナーに期待することをご記入ください

[]

以上